

甲 第 号

井上 大典 学位請求論文

審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

論文審査の要旨及び担当者

	委員長	教授	中瀬 裕之
論文審査担当者	委員	准教授	河村 健二
	委員(指導教員)	講師	重松 英樹

主論文

The influence of posture on instability evaluation using flexion–extension X-ray imaging in lumbar spondylolisthesis

腰椎すべり症における動態 X 線画像を用いた不安定性評価に対する姿勢の影響

Daisuke Inoue, Hideki Shigematsu, Yoshiyuki Nakagawa, Toshichika Takeshima,
Yasuhito Tanaka

Asian Spine Journal

02-May-2020 Accepted

論文審査の要旨

腰椎すべり症患者の椎間不安定性評価である前後屈動態 X 線撮影時の最適な姿勢を調査した。また動態撮影時の腰痛の影響についても調査した。対象は腰痛または下肢痛を主訴とした第 4 腰椎変性すべり症患者 23 人であった。立位、座位、側臥位で前後屈 X 線を撮影し、同日の腰痛視覚アナログスケール (VAS) を採取した。前屈および後屈時の椎間角度、すべり率、および椎間板面積比を 3 体位で比較した。結果は、3 体位の中で側臥位が最も椎間不安定性評価に適している結果であり、また VAS を加味した評価では椎間不安定性評価が過小評価になる可能性を示された。本研究の新規性は、腰痛が動態 X 線撮影に影響するかに注目したことである。

質疑に関しても、審査委員から質問された CT を用いた今後の椎間不安定性評価の展望についても述べられており、さらにより多くの症例で多施設前向き研究を行いたいとの意欲も示されていた。

今回検討された側臥位での前後屈動態 X 線評価は椎間不安定性を正しく評価できるが、撮影時の腰痛の影響をうけることが初めて示された。よって本研究は医学の進歩に寄与することが大きいと認め、博士 (医学) の学位に値すると評価する。

参 考 論 文

1. 占拠率 60%以上の頸椎 OPLL に対する術中エコーを使用した後方除圧固定術
松森 裕昭、植田百合人、井上 大典、重松 英樹、田中 康仁 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 62 巻 3 号: Page441-442 (2019.05)
2. 骨粗鬆症に対するデノスマブの治療継続についての検討
池田智恵子、仲川喜之、井上大典、奥本洋樹、澤井孝一、田中康仁 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 60 巻 5 号 Page895-896 (2017.09)
3. 重症原発性骨粗鬆症に対するデノスマブの短期治療成績
仲川 喜之、池田智恵子、井上 大典、澤井 孝一、奥本 洋樹、水掬 貴満、竹嶋 俊近、岩本知子、藤原小百合、上岡 優子 日本骨粗鬆症学会雑誌 3 巻 3 号 Page277-284 (2017.08)
4. 強直性脊椎骨増殖症に合併した短期間に再発を繰り返した腰椎椎間板ヘルニアの 1 例
井上大典、岩田栄一郎、小泉宗久、重松英樹、竹嶋俊近、田中康仁 整形外科 68 巻 6 号 Page526-529 (2017.06)
5. 骨折・脱臼の画像診断 指示だし・読影のポイント 骨粗鬆症性椎体骨折治療における画像診断
松森裕昭、井上大典 整形外科 Surgical Technique 6 巻 5 号 Page574-579 (2016.10)

6. 非開放性母指（母趾）槌指の2例
倉田慎平、井上大典、奥本洋樹、仲川喜之、江川琢也、田中康仁 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 59 卷 5 号 Page1069-1070 (2016.09)
7. 多数の米粒体を伴った慢性肩峰下滑液包炎の3例
江川琢也、水掬貴満、仲川喜之、倉田慎平、井上大典、奥本洋樹、竹嶋俊近、田中康仁 整形外科 66 卷 12 号 Page1271-1274 (2015.11)
8. 上腕骨結節間溝内に発生した上腕二頭筋長頭腱石灰性腱炎の1例
森田修蔵、仲川喜之、江川琢也、倉田慎平、井上大典、奥本洋樹 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 58 卷 6 号 Page1127-1128 (2015.11)
9. 上腕骨近位端骨折に対する MultiLoc PHN の使用経験
江川琢也、仲川喜之、奥本洋樹、井上大典、松本祐樹、田中康仁 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 58 卷 5 号 Page1019-1020 (2015.09)
10. 腰椎手術における術後血液データの経時的変化とインストゥルメンテーション手術が及ぼす響について
井上大典、岩田栄一郎、小泉宗久、重松英樹、倉 知彦、田中康仁 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 57 卷 3 号 Page619-620 (2014.05)
11. 両側橈骨頸部骨折遷延治癒の1例
井上 大典、仲川 信、吉田 淳、小杉 真一、田中 康仁 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 56 卷 3 号 Page561-562 (2013.05)

12. 人工股関節全置換術後の大腿骨ステム周囲骨折に対してテリパラチドを用いて保存的治療を行った 1 例

井上 大典、宗本 充、上羽 智之、田中 康仁、川手 健次 中部日本

整形外科災害外科学会雑誌 56 巻 1 号 Page157-158 (2013.01)

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに運動器再建医学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

令和2年9月8日

学位審査委員長

脳神経機能制御医学

教授 中瀬 裕之

学位審査委員

運動器再建医学

准教授 河村 健二

学位審査委員(指導教員)

運動器再建医学

講師 重松 英樹